

# ふれあい学びあい ④

## 木戸浜海岸で砂の造形・地曳網

白浜小学校



貝ガラで飾付け

「子供のために、惜しみない工夫をしよう。」を教育信条のひとつにしている白浜小学校で7月7日に、砂の造形と地曳網体験のユニーク授業を行いました。

白浜小学校は白浜地区を学区としており、九十九里海岸のひとつである木戸浜海岸、尾垂浜海岸があります。海岸は、近距離にあるのに、砂を踏むことも地曳網を引くことも見ない児童が増えています。

この日の砂の造形では、シヤベルで砂を盛り上げるお父さん、形を整えるお母さん、子供たちも分担を決めて一生懸命作業が進められて、カメ・カブトムシ・カニ・マンボウ・城・戦車・古墳など各クラスごとに22基の力作が並びました。

また、潮風に吹かれながらの昼食を挟んでの地曳網も行われました。今か今かと待ち焦がれていただけにちよっと魚が少なくてガツカリ。網の中から手づかみで獲ることはできませんでしたが、アジ・サバ・カマス・タチウオ・イシモチ・コバンザメ・シユモクザメなどが上って来ました。魚をつかむ手も恐る恐るの女の子もいましたが友達同志で分けあっていました。



地曳網から飛び出た魚にビックリ

### はだしの教育で

### 健康な身体

白浜小学校のユニークな教育方針に「はだしの教育」があります。

教室の中でも、体育の授業でも「はだし」で生活するわけです。これは教育目標の「健康でねばり強い子」のために実践していることです。はだして生活していくためには教室内をきれいにするなど安全な環境づくりと、安全な行動のとれる自覚も必要なことです。さらに足の裏を刺激することによって健康な身体を育てることに役立っています。

### 生活科で ふるさと発見

小学校1・2年生は、平成4年度から社会・理科に変わって「生活科」を勉強することになっています。

ふるさとの見なれた風景の中にある建物・草木・花・働く人々などから社会生活や歴史、自然の成りたちを勉強するものです。写真入りのふるさとマップが作られたり、学校でも教材研究が進められています。

今回の白浜小学校の砂の造形と地曳網の行事はこの生活科に関連するものです。

みなさんも「光町ふるさと探訪」を片手にふるさと再発見の小さな旅に挑戦してみませんか。